

チ ャ ッ ク リ ス ト

様式 2

I 基本的なことがら

チ ャ ッ ク 項 目	工 夫 し た こ と が ら
I—1 みどり豊かでゆとりある良好な住環境	・敷地境界からの離隔をとり、緑化を設けました。 また、周辺環境になじむ色彩計画とします。
I—2 多世代が定住でき、永く住み続けられ心の豊かさにもつながる、まちづくり	・永住型の住宅となるよう1住戸当りの面積を大きめとし、多世代に渡り継承される住宅となる様に配慮します。
I—3 ユニバーサルデザイン等の導入	・奇抜なデザインとならない様に配慮し、共有部についてはバリアフリーとなる様に計画します。
I—4 安心・安全の生活の確保	・オートロックシステムの導入や防犯面格子を採用し安全面の確保に配慮します。
I—5 都市の熱環境への負荷の低減	・節水型水栓や便器等を採用し環境負荷への配慮をします。 ・雨水貯留槽を設置し、浸水対策に努めます。
I—6 地形を活かし、遠景や近景を眺めメリハリのあるまちづくり	・自然が多く、閑静な住宅街となっているため、周辺環境に圧迫を与えない配置計画とします。
I—7 魅力ある場所をつくるデザイン	・横長の建物形状となる為、水平垂直の美を強調するデザインとし地域に馴染む様配慮します。
I—8 美しく開放された空間づくり	・道路沿いの擁壁を後退させ植栽帯を設けました。 ・主要道路から隣接する公園へアクセス出来る様、遊歩道を設けます。
I—9 地区計画や建築協定などの積極的活用	・建築物の最高高さが25.0mを超えないよう各階の階高を低く計画します。

チ ャ ッ ク リ ス ト

様式 3

Ⅱ 技術的なことがら (計画の作り方と数値目標)

チ ャ ッ ク 項 目	工 夫 し た こ と が ら
Ⅱー1 地形を活かし、魅力ある住宅地景観をつくることやまちなみの連続性への配慮	擁壁H= 1.5～3.0m・L= 約 82m 法面H= 0.9～1.2m・L= 約 36 m ²
Ⅱー2 高さ、容積率、建ぺい率について	最高高さ 24.44m・容積率 149.62% 建ぺい率 33.05% 隣棟との間隔 m
Ⅱー3 近隣の建物の配置状況への配慮	・南側隣地とは極力、離隔距離を確保しメインバルコニーが向合わない様に配慮します。
Ⅱー4 周辺から見た都市景観への配慮	・セットバック等を用いた歪な形状とならない様に計画しシンプルなデザインとなる様に配慮します。
Ⅱー5 オープンスペースや緑化スペースと歩行者動線	・プレイロットを経由して住戸内へアクセスできるように計画します。
Ⅱー6 建物の外壁面の後退の指標	外壁面後退 道路から 3.7m・隣地から 3.2m
Ⅱー7 有効空地の指標	歩道設置 (無・有) W= m・L= m 敷地内空地 55.14%
Ⅱー8 敷地面積の規模の指標等	・敷地面積=5983.83 m ²
Ⅱー9 防犯性の高い良質な住宅ストック	・防犯カメラ等を採用し、防犯面にも配慮します。
Ⅱー10 景観デザイン	・街路樹のある道路沿いや公園に隣接する部分に植栽を設け周囲とのつながりに配慮します。
Ⅱー11 まちの庭園化	・緑化率 30%確保を目指します。
Ⅱー12 工作物などの作り方	フェンスH= 2.0m・L= 約 75m 塀 H= 2.4m・L= 約 40m

「千里ニュータウンのまちづくり指針」チェックリスト

*このチェックリストに書ききれない場合は、別紙に記入し添付してください